

設定ガイド

本マニュアルでは設定を変更するためのバーコード一覧をご案内しています。変更する設定のバーコードを読み取り、設定してください。

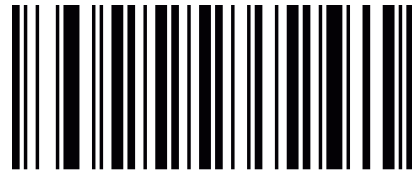
INDEX

| | |
|-----------------------------------|----|
| 出荷時設定に戻す..... | 2 |
| ファームウェアバージョン確認..... | 3 |
| キーボードのレイアウト設定..... | 4 |
| 大文字小文字設定..... | 5 |
| ブザー音の設定..... | 6 |
| 読み取りモード..... | 7 |
| プレフィックスの設定..... | 8 |
| サフィックスの設定..... | 9 |
| ターミネーターの設定..... | 10 |
| 非表示の設定..... | 11 |
| バーコード ID 出力設定..... | 17 |
| JAN / EAN-13 の設定..... | 18 |
| JAN / EAN-8 の設定..... | 21 |
| UPC-A の設定..... | 24 |
| UPC-E の設定..... | 27 |
| GS1 DataBar (RSS) の設定..... | 30 |
| CODE39 の設定..... | 31 |
| CODE11 の設定..... | 34 |
| CODE128 の設定..... | 35 |
| CODE93 の設定..... | 36 |
| Codabar (NW7) の設定..... | 37 |
| ITF (Interleaved 2 of 5) の設定..... | 38 |
| IATA (Standard 2 of 5)..... | 40 |
| Industrial 2 of 5..... | 41 |
| Matrix 2 of 5..... | 42 |
| 設定コード表..... | 43 |

出荷時設定に戻す

設定を変更する場合は一度出荷時設定に戻すことをお勧めします。

出荷時設定



出荷時設定一覧

| | |
|-------------|---|
| キーボードのレイアウト | 日本語キーボード (106) |
| ターミネーター | Enter (CR) |
| 読み取りモード | トリガーモード |
| 読み取りコード | JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E、GS1 DataBar、CODE39、CODE11、CODE128、CODE93、Codabar(NW7)、ITF(Interleaved 2 of 5)、IATA (Standard 2 of 5)、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5 |

ファームウェアバージョン確認

読み取り結果を表示するアプリ（メモ帳など）を起動し、以下のバーコードを読み取ると、ファームウェアバージョンが出力されます。

ファームウェアバージョン



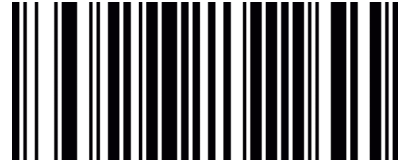
以下の設定をした場合、出力に反映されます

- ・ プリフィックス ([【プレフィックスの設定】 \(8 ページ\)](#))
- ・ サフィックス ([【サフィックスの設定】 \(9 ページ\)](#))
- ・ ターミネーター ([【ターミネーターの設定】 \(10 ページ\)](#))
- ・ バーコード ID ([【バーコード ID 出力設定】 \(17 ページ\)](#))

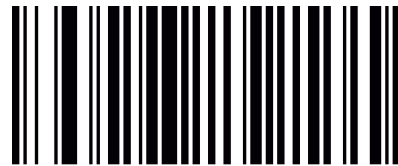
【キーボードのレイアウト設定

日本語キーボード (106)

※出荷時設定



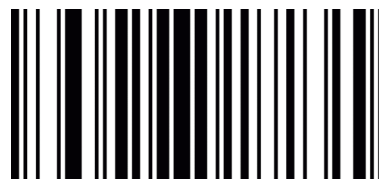
英語キーボード (101)



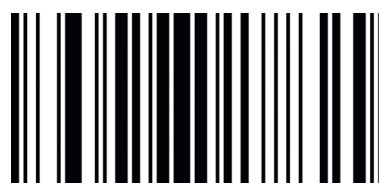
大文字小文字設定

オフ

※出荷時設定



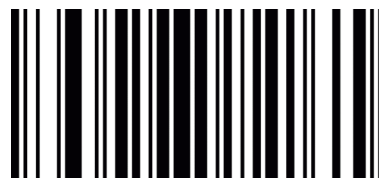
すべて大文字にする



すべて小文字にする



大文字小文字を反転させる



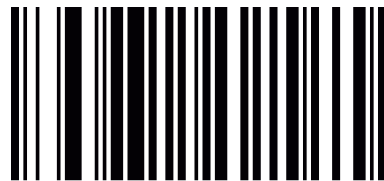
ブザー音の設定

設定音、読み込み音を両方オン

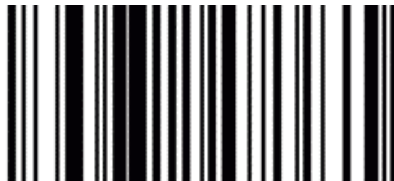
※出荷時設定



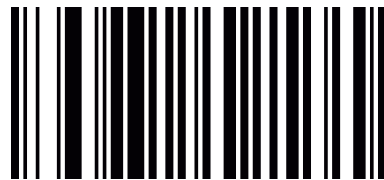
設定音、読み込み音を両方オフ



設定音オフ



音量を上げる



音量を下げる

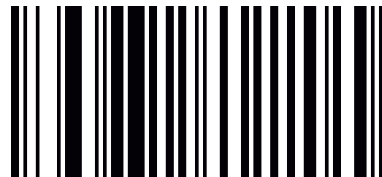


読み取りモード

トリガーモード

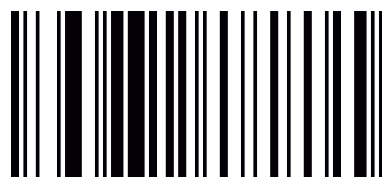
※出荷時設定

トリガースイッチを押している間は表示 LED が点灯し、読み取り可能になります。



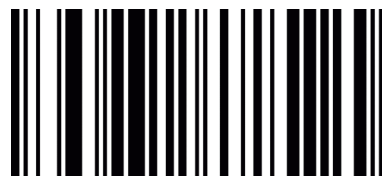
連続モード

表示 LED が常時点灯し、トリガースイッチを押さずに連続して読み取り可能になります。



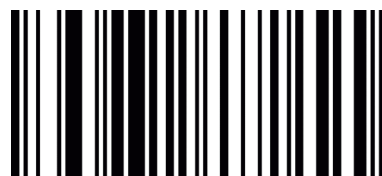
点滅モード（トリガーオフ）

トリガースイッチを押すと表示 LED が点滅し、連続して読み取り可能になります。もう一度トリガースイッチを押すと表示 LED が消灯し、トリガースイッチを押した時のみ読み取り可能になります。



点滅モード

表示 LED が点滅し、トリガースイッチを押さずに連続して読み取り可能になります。



プレフィックスの設定

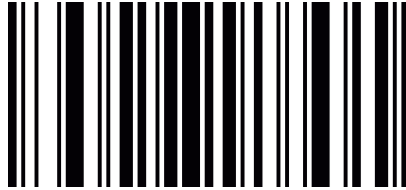
データの先頭に最大 32 文字の任意の文字列を固定して付加できます。

プレフィックスの設定

以下の順に読み取り、設定してください。

- 1 下記、設定開始バーコードを読み取る

設定開始



- 2 [【設定コード表】\(43 ページ\)](#) からプレフィックス設定するバーコードを読み取る

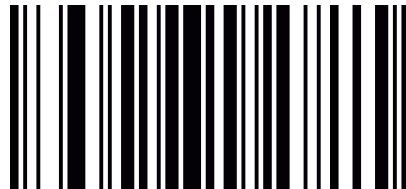
読み取り例

プレフィックス「CODE」の場合、以下の順でバーコードを読み取ります。

43 → 4F → 44 → 45

- 3 下記、設定終了バーコードを読み取る

設定終了



プレフィックスの設定をすべて削除する

プレフィックスの
設定をすべて消す



サフィックスの設定

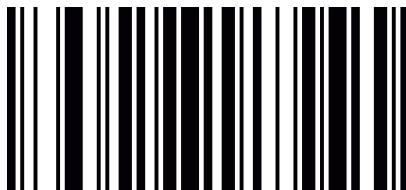
データの最後に最大 32 文字の任意の文字列を固定して付加できます。

サフィックスの設定

以下の順に読み取り、設定してください。

- 1 下記、設定開始バーコードを読み取る

設定開始



- 2 [【設定コード表】\(43 ページ\)](#) からサフィックス設定するバーコードを読み取る

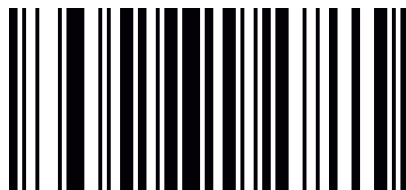
読み取り例

サフィックス「AGE」の場合、以下の順でバーコードを読み取ります。

41 → 47 → 45

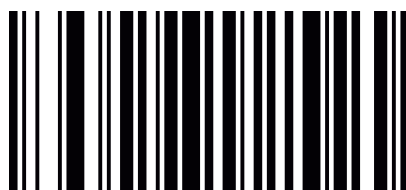
- 3 下記、設定終了バーコードを読み取る

設定終了



サフィックスの設定をすべて削除する

サフィックスの設定
をすべて消す



ターミネーターの設定

Enter (CR)

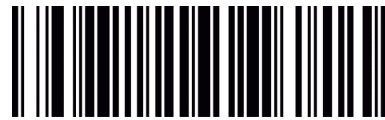
※出荷時設定



Enter (LF)



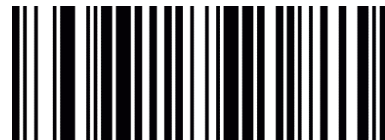
Enter (CR + LF)



Tab



付加しない



非表示の設定

指定した桁のスキャンデータを非表示にします。以下の設定が可能です。

[【先頭の指定した文字数を非表示にする】\(12 ページ\)](#)

[【末尾から指定した文字数を非表示にする】\(13 ページ\)](#)

[【中間の指定した文字数を非表示にする】\(14 ページ\)](#)

設定例：先頭の 2 文字を非表示にした場合

(元のコード) 1234567 → (設定後のコード) 34567

非表示にした文字数よりも短い桁数のバーコードを読み取ると、文字は入力されずターミネータのみが出力されます。

設定例：末尾の 2 文字を非表示にした場合

(元のコード) 1234567 → (設定後のコード) 12345

非表示にした文字数よりも短い桁数のバーコードを読み取ると、文字は入力されずターミネータのみが出力されます。

設定例：先頭の 2 文字と末尾の 2 文字を非表示に設定した場合

先頭の 2 文字と末尾の 2 文字を非表示に設定することで、中央の文字のみを読むことができます。

(元のコード) 1234567 → (設定後のコード) 345

非表示にした文字数よりも短い桁数のバーコードを読み取ると、文字は入力されずターミネータのみが出力されます。

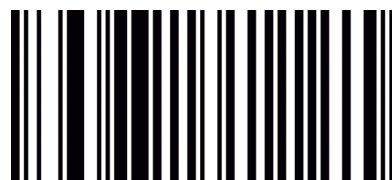
設定例：8 桁目から 5 文字非表示にしたい場合

非表示にし始める桁の設定をおこない、次に非表示にする文字数の設定をすることで中間の指定した文字数を非表示にすることができます。

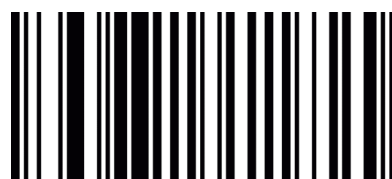
(元のコード) 1923055032002 → (設定後のコード) 19230552

先頭の指定した文字数を非表示にする

先頭の 1 文字を非表示にする



先頭の 2 文字を非表示にする



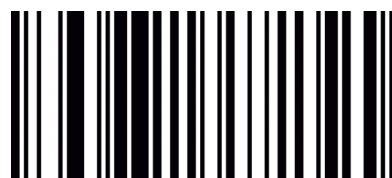
先頭の 3 文字を非表示にする



先頭の 4 文字を非表示にする



先頭の 5 文字を非表示にする

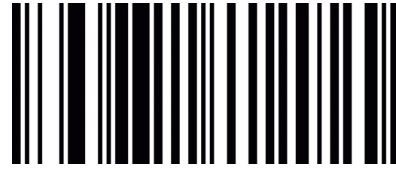


先頭の子表示設定を解除する

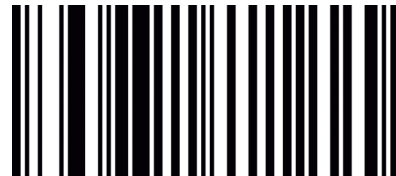


末尾から指定した文字数を非表示にする

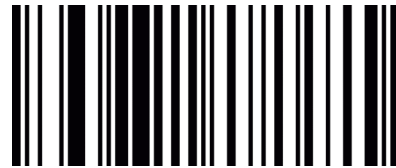
末尾から 1 文字を非表示にする



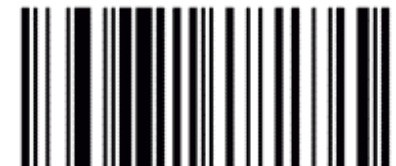
末尾から 2 文字を非表示にする



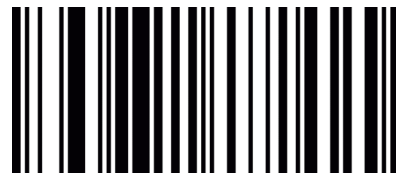
末尾から 3 文字を非表示にする



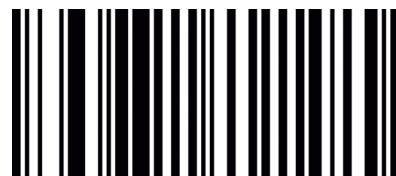
末尾から 4 文字を非表示にする



末尾から 5 文字を非表示にする



末尾の非表示設定を解除する



中間の指定した文字数を非表示にする

「[1. 非表示にし始める桁](#)」と「[2. 非表示にする文字数](#)」の2つの設定コードを組み合わせ設定します。

1. 非表示にし始める桁

1 桁目 (先頭) から

設定コードなし (出荷時設定状態)

2 桁目から



3 桁目から



4 桁目から



5 桁目から



6 桁目から



7 桁目から



8 桁目から



9 桁目から



2. 非表示にする文字数

1 文字



2 文字



3 文字



4 文字



5 文字



6 文字



7 文字



8 文字



■ 非表示の設定（つづき）

具体的な設定例

書籍 JAN コードの下段部から 税抜本体価格 を隠した形で読み取りたい場合、
下の例では [1923055032002] の “03200” を隠し非表示にして出力します。



- 1 [14 ページの「8 桁目から」](#)のバーコードを読み取る
- 2 [15 ページの「5 文字」](#)のバーコードを読み取る

バーコード ID 出力設定

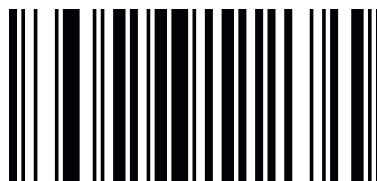
読み込んだバーコードの種類を先頭文字として出力します。

次ページ以降のバーコード毎の設定をおこなう際に、本バーコード ID を出力することでバーコードの種類を確認することができます。

[バーコード ID を出力する] に設定した状態でメモ帳アプリなどを開いてバーコードを読み込むと、読み込んだ値の先頭につく文字で判断することができます。

例) d1234567890128 の場合、Barcode type は「JAN/EAN 13」

バーコード ID を出力する



バーコード ID を出力しない

※出荷時設定



バーコード別 設定値一覧表

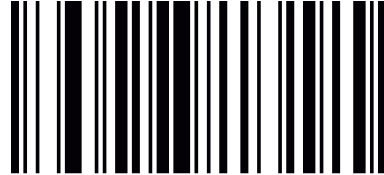
| Barcode type | Code ID |
|-------------------------|---------|
| CODE 128 | a |
| JAN/EAN 8 | c |
| JAN/EAN 13 | d |
| UPC-A | e |
| UPC-E | f |
| CODE 93 | i |
| GS1 DataBar | j |
| GS1 DataBar(Limited) | k |
| CODE 39 | m |
| ITF(Interleaved 2 of 5) | n |
| Industrial 2 of 5 | o |
| IATA(Standard 2 of 5) | p |
| Matrix 2 of 5 | q |
| CODE 11 | u |
| Codabar(NW7) | v |

JAN / EAN-13 の設定

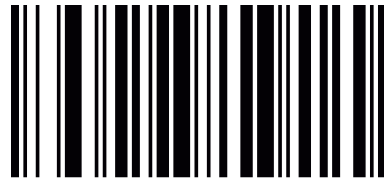
読み取り設定

JAN / EAN-13 の読み取りを許可

※出荷時設定



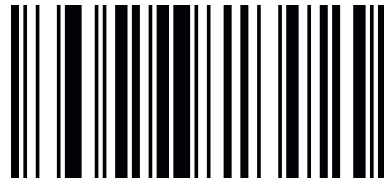
JAN / EAN-13 の読み取りを禁止



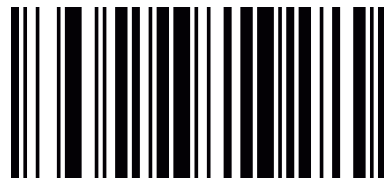
チェックディジットの設定

チェックディジットを送信する

※出荷時設定



チェックディジットを送信しない



アドオンの設定

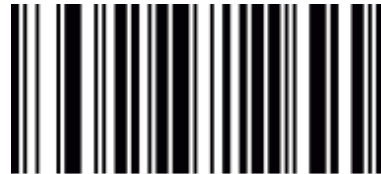
アドオンについて

アドオンとは、通常のコードに追加されたコードのことです。本製品では、2桁と5桁のアドオンコードに対応しています。

※アドオンの設定は UPC、EAN、JAN すべてに共通です。設定すると UPC で設定した場合でも EAN で設定した場合でも JAN で設定した場合でも有効になります。

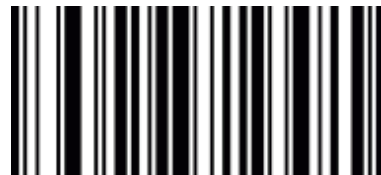
アドオンコード有無に関わらずスキャン

アドオンコード2桁・5桁のいずれの有無に関わらずスキャンします。アドオンがある場合はアドオンもスキャンします。



アドオン無しとアドオン有り (2桁) をスキャン

アドオンコード5桁は無視します。



アドオン無しとアドオン有り (5桁) をスキャン

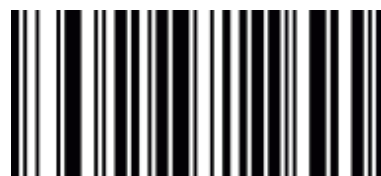
アドオンコード2桁は無視します。



アドオンコード有りのみスキャン

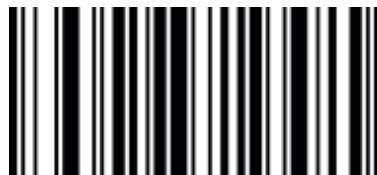
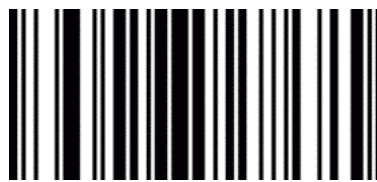
アドオンコード2桁・5桁のいずれもあるものだけをスキャンします。

※上から順に2つスキャンしてください。



アドオンコード有り (2桁) のみスキャン

※上から順に2つスキャンしてください。



アドオンコード有り (5桁) のみスキャン

※上から順に2つスキャンしてください。



アドオンコード有りのみスキャンを無効にする

アドオンコード無しも読み込める状態になります。



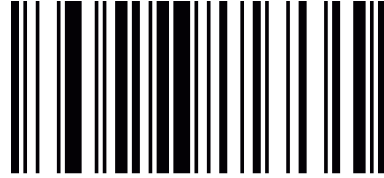
アドオンコード有りをスキャンしない



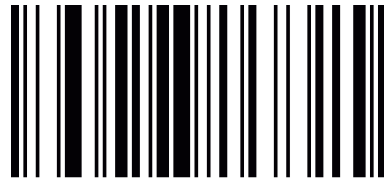
JAN / EAN-8 の設定

読み取り設定

JAN / EAN-8 の読み取りを許可
※出荷時設定

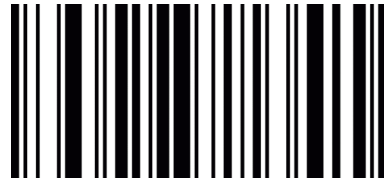


JAN / EAN-8 の読み取りを禁止

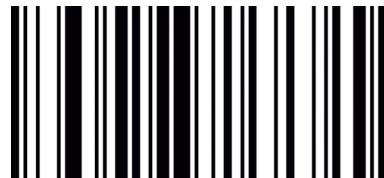


チェックディジットの設定

チェックディジットを送信する
※出荷時設定



チェックディジットを送信しない



先頭の文字の削除設定

先頭の文字を削除する



先頭の文字を削除しない
※出荷時設定



アドオンの設定

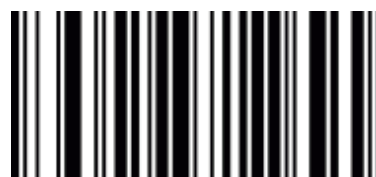
アドオンについて

アドオンとは、通常のコードに追加されたコードのことです。本製品では、2桁と5桁のアドオンコードに対応しています。

※アドオンの設定はUPC、EAN、JANすべてに共通です。設定するとUPCで設定した場合でもEANで設定した場合でもJANで設定した場合でも有効になります。

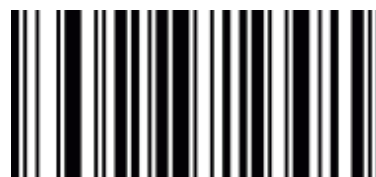
アドオンコード有無に関わらずスキャン

アドオンコード2桁・5桁のいずれの有無に関わらずスキャンします。アドオンがある場合はアドオンもスキャンします。



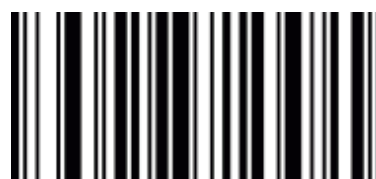
アドオン無しとアドオン有り (2桁) をスキャン

アドオンコード5桁は無視します。



アドオン無しとアドオン有り (2桁) をスキャン

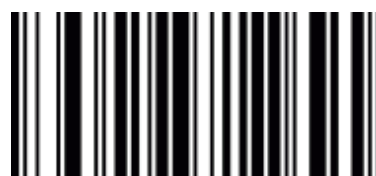
アドオンコード5桁は無視します。



アドオンコード有りのみスキャン

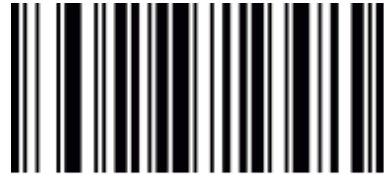
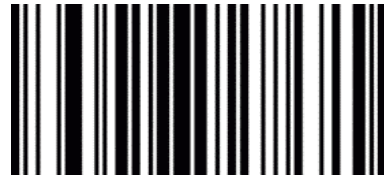
アドオンコード2桁・5桁のいずれもあるものだけをスキャンします。

※上から順に2つスキャンしてください。



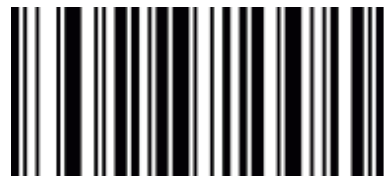
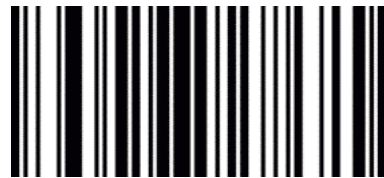
アドオンコード有り (2桁) のみスキャン

※上から順に2つスキャンしてください。



アドオンコード有り (5桁) のみスキャン

※上から順に2つスキャンしてください。

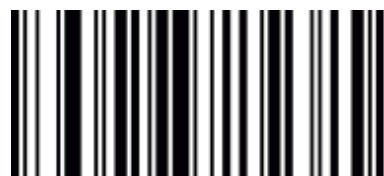


アドオンコード有りのみスキャンを無効にする

アドオンコード無しも読み込める状態になります。



アドオンコード有りをスキャンしない

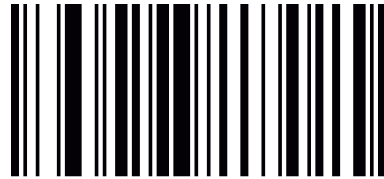


UPC-A の設定

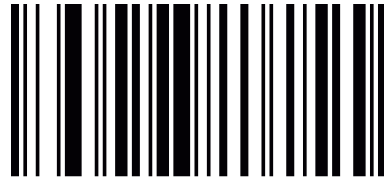
読み取り設定

UPC-A の読み取りを許可

※出荷時設定



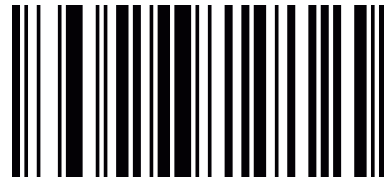
UPC-A の読み取りを禁止



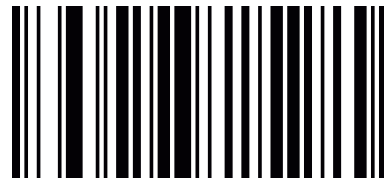
チェックディジットの設定

チェックディジットを送信する

※出荷時設定

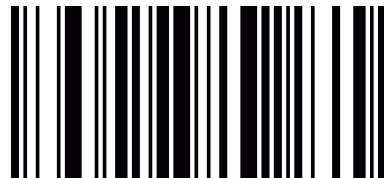


チェックディジットを送信しない



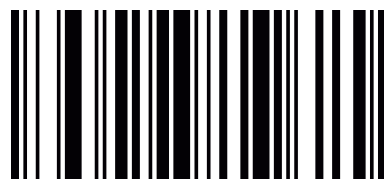
EAN-13 変換設定

EAN-13 に変換する



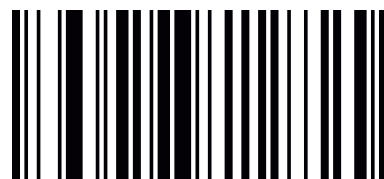
EAN-13 に変換しない

※出荷時設定



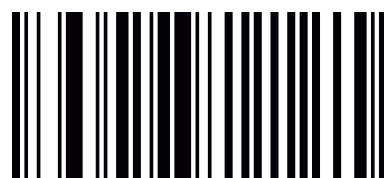
先頭の文字の削除設定

先頭の文字を削除する



先頭の文字を削除しない

※出荷時設定



アドオンの設定

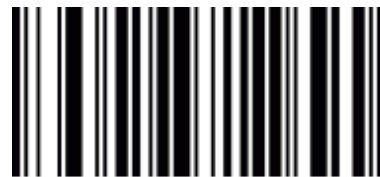
アドオンについて

アドオンとは、通常のコードに追加されたコードのことです。本製品では、2桁と5桁のアドオンコードに対応しています。

※アドオンの設定は UPC、EAN、JAN すべてに共通です。設定すると UPC で設定した場合でも EAN で設定した場合でも JAN で設定した場合でも有効になります。

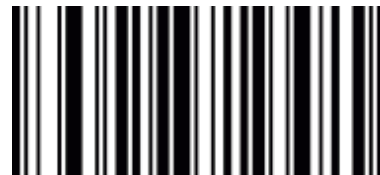
アドオンコード有無に関わらずスキャン

アドオンコード2桁・5桁のいずれの有無に関わらずスキャンします。アドオンがある場合はアドオンもスキャンします。



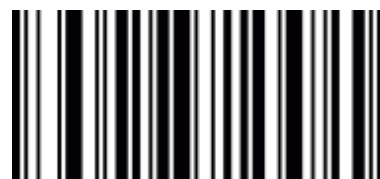
アドオン無しとアドオン有り (2桁) をスキャン

アドオンコード5桁は無視します。



アドオン無しとアドオン有り (5桁) をスキャン

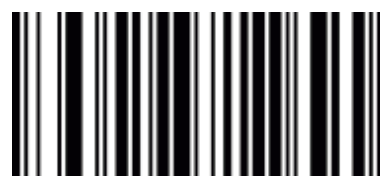
アドオンコード2桁は無視します。



アドオンコード有りのみスキャン

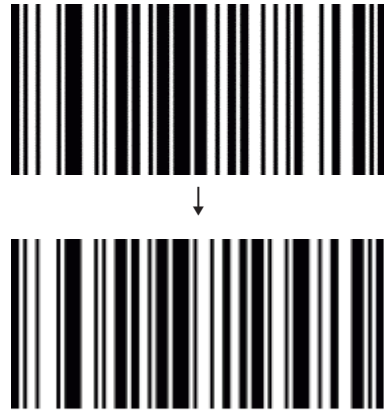
アドオンコード2桁・5桁のいずれもあるものだけをスキャンします。

※上から順に2つスキャンしてください。



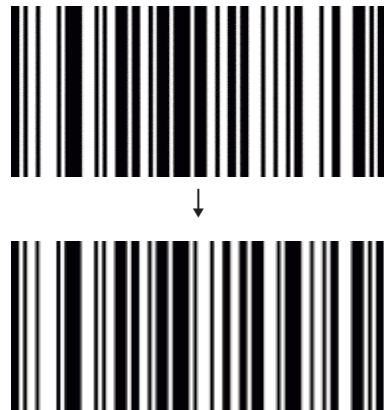
アドオンコード有り (2桁) のみスキャン

※上から順に2つスキャンしてください。



アドオンコード有り (5桁) のみスキャン

※上から順に2つスキャンしてください。

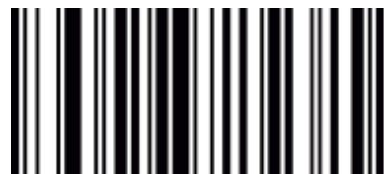


アドオンコード有りのみスキャンを無効にする

アドオンコード無しも読み込める状態になります。



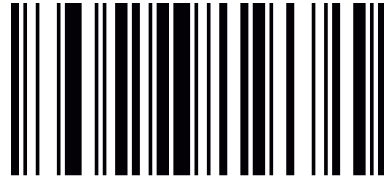
アドオンコード有りをスキャンしない



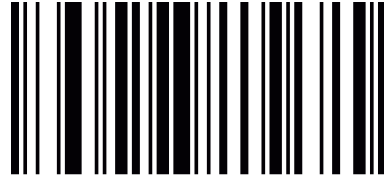
UPC-E の設定

読み取り設定

UPC-E の読み取りを許可
※出荷時設定

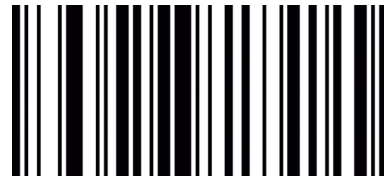


UPC-E の読み取りを禁止

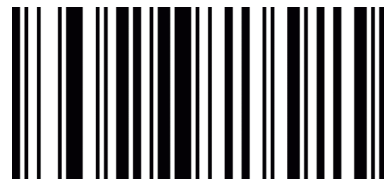


チェックディジットの設定

チェックディジットを送信する
※出荷時設定

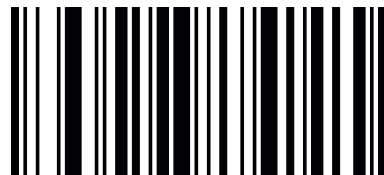


チェックディジットを送信しない

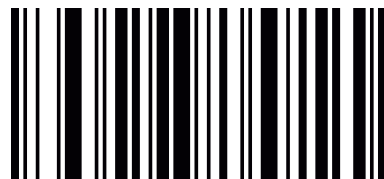


UPC-A 変換設定

UPC-A に変換する

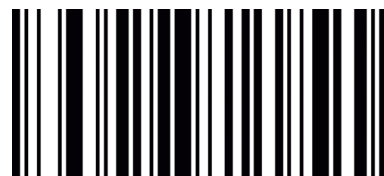


UPC-A に変換しない
※出荷時設定

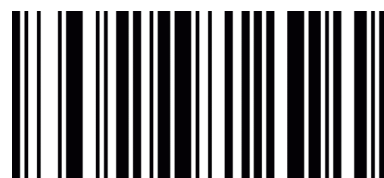


先頭の文字の削除設定

先頭の文字を削除する



先頭の文字を削除しない
※出荷時設定



アドオンの設定

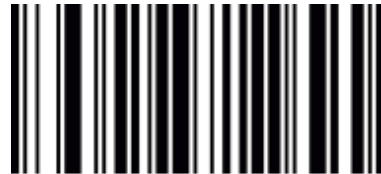
アドオンについて

アドオンとは、通常のコードに追加されたコードのことです。本製品では、2桁と5桁のアドオンコードに対応しています。

※アドオンの設定は UPC、EAN、JAN すべてに共通です。設定すると UPC で設定した場合でも EAN で設定した場合でも JAN で設定した場合でも有効になります。

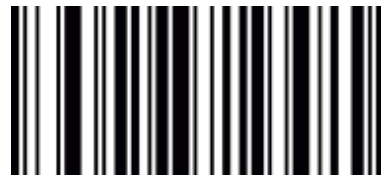
アドオンコード有無に関わらずスキャン

アドオンコード2桁・5桁のいずれの有無に関わらずスキャンします。アドオンがある場合はアドオンもスキャンします。



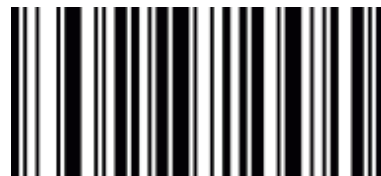
アドオン無しとアドオン有り (2桁) をスキャン

アドオンコード5桁は無視します。



アドオン無しとアドオン有り (5桁) をスキャン

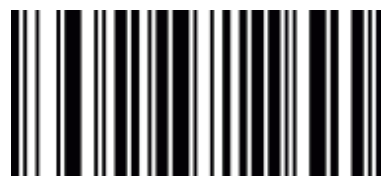
アドオンコード2桁は無視します。



アドオンコード有りのみスキャン

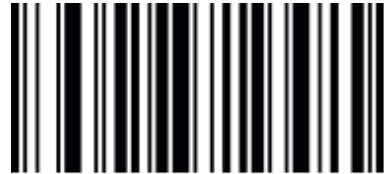
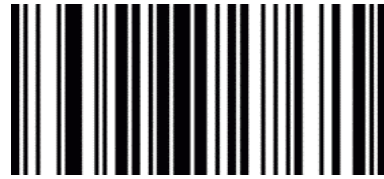
アドオンコード2桁・5桁のいずれもあるものだけをスキャンします。

※上から順に2つスキャンしてください。



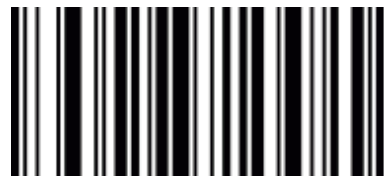
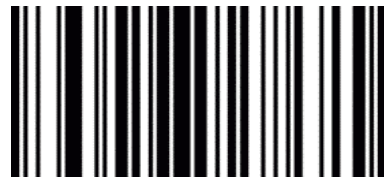
アドオンコード有り (2桁) のみスキャン

※上から順に2つスキャンしてください。



アドオンコード有り (5桁) のみスキャン

※上から順に2つスキャンしてください。

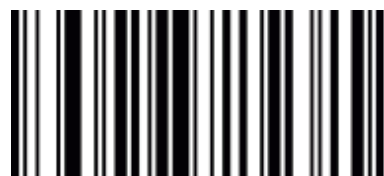


アドオンコード有りのみスキャンを無効にする

アドオンコード無しも読み込める状態になります。



アドオンコード有りをスキャンしない

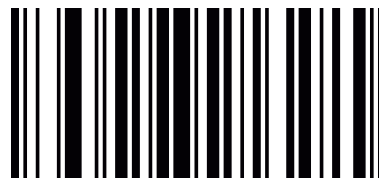


GS1 DataBar (RSS) の設定

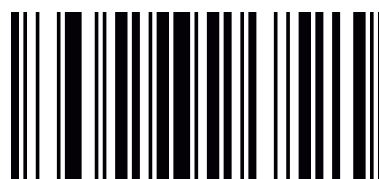
RSS-14 読み取り設定

RSS-14 の読み取りを許可

※出荷時設定



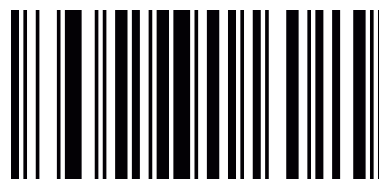
RSS-14 の読み取りを禁止



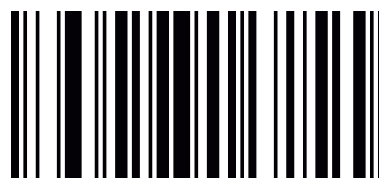
RSS-14 LIMITED 読み取り設定

RSS-14 LIMITED の読み取りを許可

※出荷時設定



RSS-14 LIMITED の読み取りを禁止

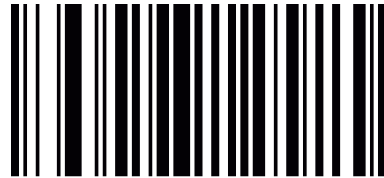


CODE39 の設定

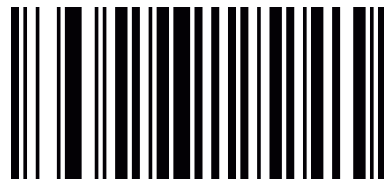
CODE39 読み取り設定

CODE39 の読み取りを許可

※出荷時設定

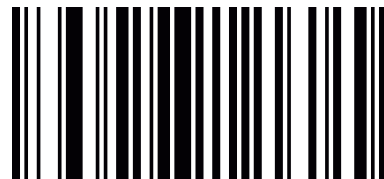


CODE39 の読み取りを禁止



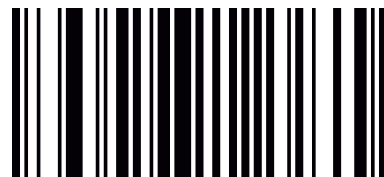
フル ASCII 変換設定

フル ASCII に変換する



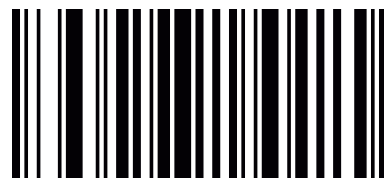
フル ASCII に変換しない

※出荷時設定



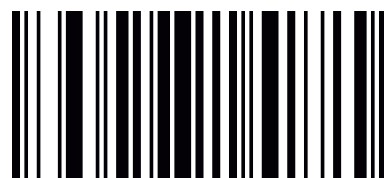
スタート / ストップコード設定

スタート / ストップコードを送信する



スタート / ストップコードを送信しない

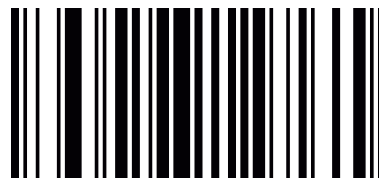
※出荷時設定



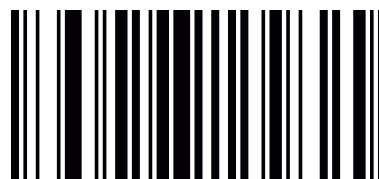
チェックディジット設定

チェックディジットを送信する

※出荷時設定

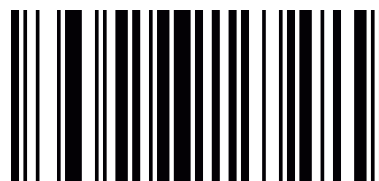


チェックディジットを送信しない



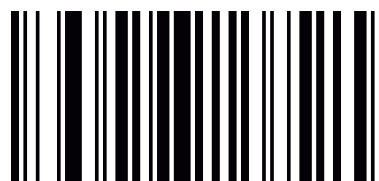
チェックディジットの検証

**チェックディジットを有効にする
(MOD43)**



**チェックディジットを無効にする
(MOD43)**

※出荷時設定



最小読み取り桁数設定

バーコード形式：Code128 [^30032XX] で作成してください。

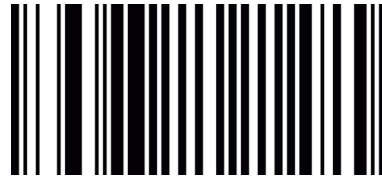
※ XX は任意の最小桁数を表した 16 進数

※ 設定できる範囲は 1 ~ 15 になります。

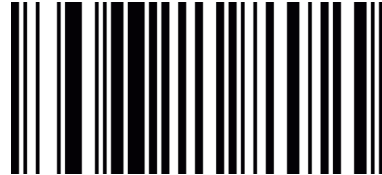
※ “^3” は Code128 のファンクションキャラクタ “FNC3” を表しています。適宜バーコード作成ソフトの仕様に合わせて設定を変更してください。

最小読み取り桁数を 2 桁に設定

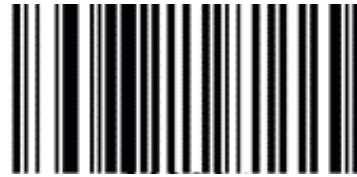
※ 出荷時設定



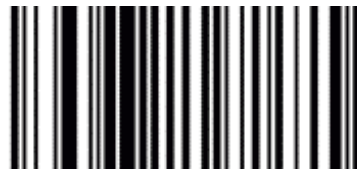
最小読み取り桁数を 3 桁に設定



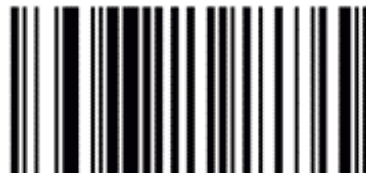
最小読み取り桁数を 4 桁に設定



最小読み取り桁数を 5 桁に設定



最小読み取り桁数を 6 桁に設定



最小読み取り桁数を 7 桁に設定

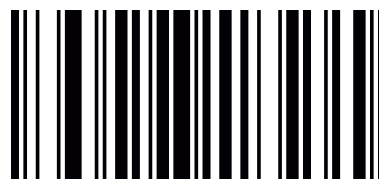


CODE11 の設定

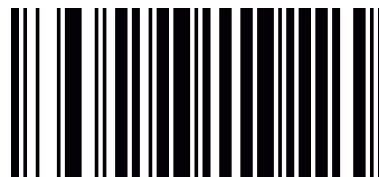
CODE11 読み取り設定

CODE11 の読み取りを許可

※出荷時設定



CODE11 の読み取りを禁止



最小読み取り桁数設定

バーコード形式：Code128 [^30128XX] で作成してください。

※ XX は任意の最小桁数を表した 16 進数

※設定できる範囲は 1 ～ 15 になります。

※ “^3” は Code128 のファンクションキャラクタ “FNC3” を表しています。適宜バーコード作成ソフトの仕様に合わせて設定を変更してください。

最小読み取り桁数を 3 桁に設定



最小読み取り桁数を 4 桁に設定

※出荷時設定



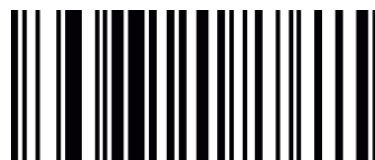
最小読み取り桁数を 5 桁に設定



最小読み取り桁数を 6 桁に設定



最小読み取り桁数を 7 桁に設定

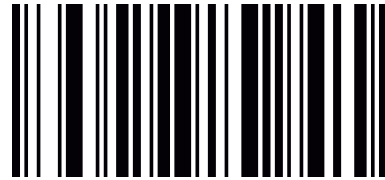


CODE128 の設定

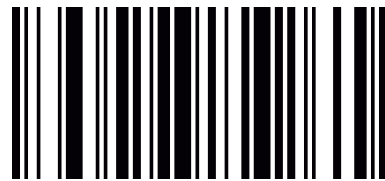
CODE128 読み取り設定

CODE128 の読み取りを許可

※出荷時設定



CODE128 の読み取りを禁止

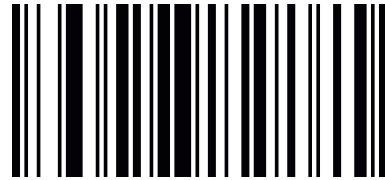


CODE93 の設定

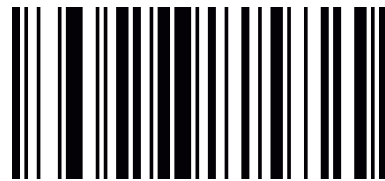
CODE93 読み取り設定

CODE93 の読み取りを許可

※出荷時設定

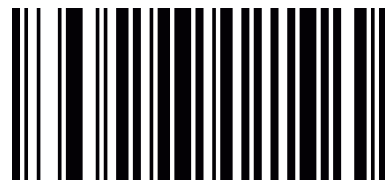


CODE93 の読み取りを禁止



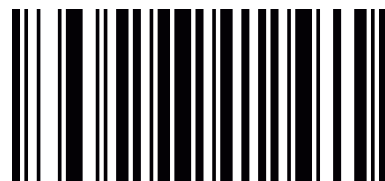
チェックディジット設定

チェックディジットを送信する



チェックディジットを送信しない

※出荷時設定

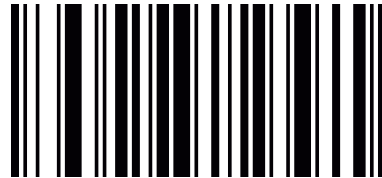


Codabar (NW7) の設定

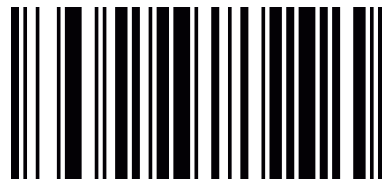
Codabar 読み取り設定

Codabar の読み取りを許可

※出荷時設定



Codabar の読み取りを禁止



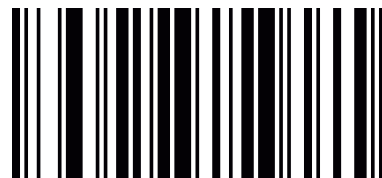
スタート / ストップコード設定

スタート / ストップコードを送信する



スタート / ストップコードを送信しない

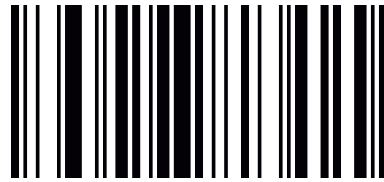
※出荷時設定



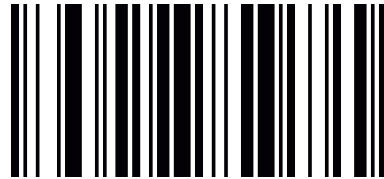
ITF (Interleaved 2 of 5) の設定

ITF 読み取り設定

ITF の読み取りを許可
※出荷時設定

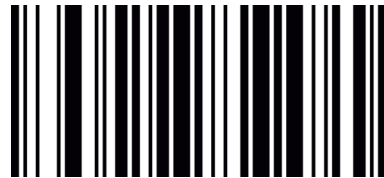


ITF の読み取りを禁止

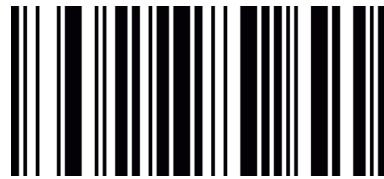


チェックディジット設定

チェックディジットを送信する
※出荷時設定

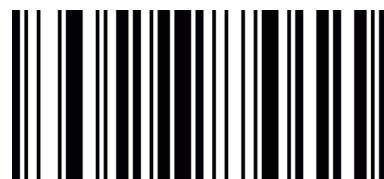


チェックディジットを送信しない

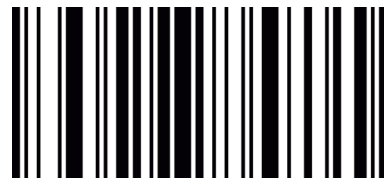


チェックディジットの検証

チェックディジットを有効にする
※出荷時設定



チェックディジットを無効にする



最小読み取り桁数設定

バーコード形式：Code128 [^30097XX] で作成してください。

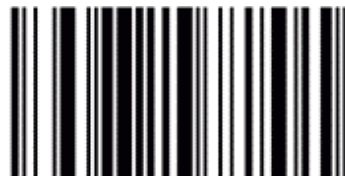
※ XX は任意の最小桁数を表した 16 進数

※設定できる範囲は 1 ～ 15 になります。

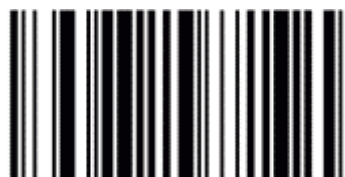
※ “^3” は Code128 のファンクションキャラクタ “FNC3” を表しています。適宜バーコード作成ソフトの仕様に合わせて設定を変更してください。

最小読み取り桁数を 4 桁に設定

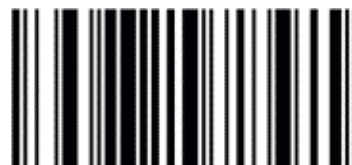
※出荷時設定



最小読み取り桁数を 5 桁に設定



最小読み取り桁数を 6 桁に設定



最小読み取り桁数を 7 桁に設定

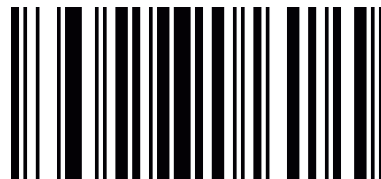


IATA (Standard 2 of 5)

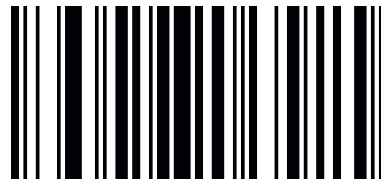
IATA 読み取り設定

IATA の読み取りを許可

※出荷時設定



IATA の読み取りを禁止



最小読み取り桁数設定

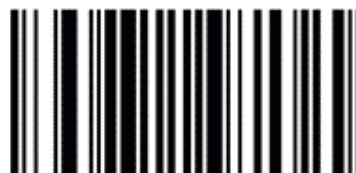
バーコード形式：Code128 [^30189XX] で作成してください。

※ XX は任意の最小桁数を表した 16 進数

※設定できる範囲は 1 ~ 15 になります。

※ “^3” は Code128 のファンクションキャラクタ “FNC3” を表しています。適宜バーコード作成ソフトの仕様に合わせて設定を変更してください。

最小読み取り桁数を 4 桁に設定



最小読み取り桁数を 5 桁に設定



最小読み取り桁数を 6 桁に設定



最小読み取り桁数を 7 桁に設定

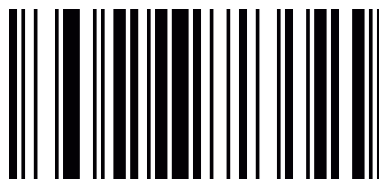
※出荷時設定



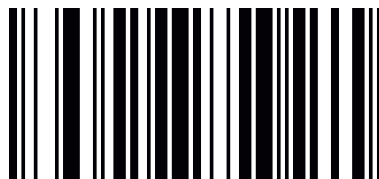
Industrial 読み取り設定

Industrial の読み取りを許可

※出荷時設定



Industrial の読み取りを禁止



最小読み取り桁数設定

バーコード形式：Code128 [^30107XX] で作成してください

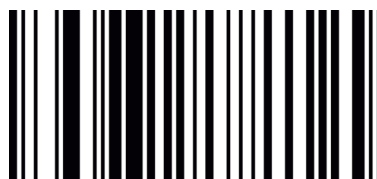
※ XX は任意の最小桁数を表した 16 進数

※設定できる範囲は 1 ~ 15 になります。

※ “^3” は Code128 のファンクションキャラクタ “FNC3” を表しています。適宜バーコード作成ソフトの仕様に合わせて設定を変更してください。

最小読み取り桁数を 3 桁に設定

※出荷時設定



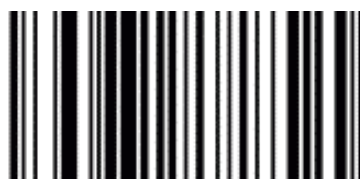
最小読み取り桁数を 4 桁に設定



最小読み取り桁数を 5 桁に設定



最小読み取り桁数を 6 桁に設定



最小読み取り桁数を 7 桁に設定

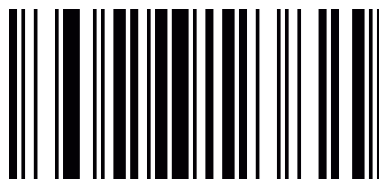


Matrix 2 of 5

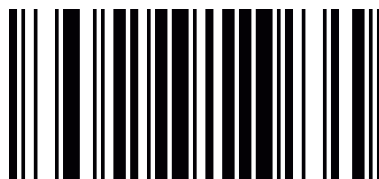
Matrix 読み取り設定

Matrix の読み取りを許可

※出荷時設定



Matrix の読み取りを禁止



最小読み取り桁数設定

バーコード形式：Code128 [^30148XX] で作成してください。

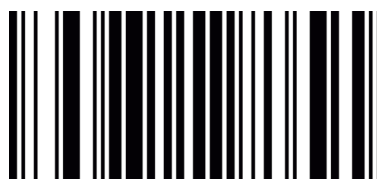
※ XX は任意の最小桁数を表した 16 進数

※設定できる範囲は 1 ～ 15 になります。

※ “^3” は Code128 のファンクションキャラクタ “FNC3” を表しています。適宜バーコード作成ソフトの仕様に合わせて設定を変更してください。

最小読み取り桁数を 3 桁に設定

※出荷時設定



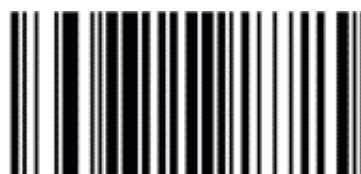
最小読み取り桁数を 4 桁に設定



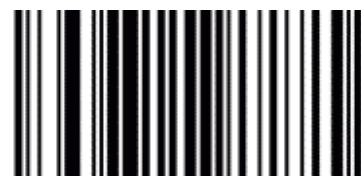
最小読み取り桁数を 5 桁に設定



最小読み取り桁数を 6 桁に設定



最小読み取り桁数を 7 桁に設定



設定コード表

16進コード表

| | | | |
|----------------|---|----------|---|
| SOH (01) |  | CR (0D) |  |
| STX (02) |  | SO (0E) |  |
| ETX (03) |  | SI (0F) |  |
| EOT (04) |  | DEL (10) |  |
| ENQ (05) |  | DC1 (11) |  |
| ACK (06) |  | DC2 (12) |  |
| BEL (07) |  | DC3 (13) |  |
| Backspace (08) |  | DC4 (14) |  |
| HT (09) |  | NAK (15) |  |
| LF (0A) |  | SYN (16) |  |
| VT (0B) |  | ETB (17) |  |
| FF (0C) |  | CAN (18) |  |

16進コード表 (つづき)

| | | | |
|------------|--|--------|---|
| EM (19) |  | % (25) |  |
| SUB (1A) |  | & (26) |  |
| ESC (1B) |  | '(27) |  |
| FS (1C) |  | ((28) |  |
| GS (1D) |  |) (29) |  |
| RS (1E) |  | * (2A) |  |
| US (1F) |  | + (2B) |  |
| Space (20) |  | , (2C) |  |
| ! (21) |  | - (2D) |  |
| "(22) |  | . (2E) |  |
| # (23) |  | / (2F) |  |
| \$ (24) |  | 0 (30) |  |

16進コード表 (つづき)

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| 1 (31) |  | = (3D) |  |
| 2 (32) |  | > (3E) |  |
| 3 (33) |  | ? (3F) |  |
| 4 (34) |  | @ (40) |  |
| 5 (35) |  | A (41) |  |
| 6 (36) |  | B (42) |  |
| 7 (37) |  | C (43) |  |
| 8 (38) |  | D (44) |  |
| 9 (39) |  | E (45) |  |
| : (3A) |  | F (46) |  |
| ; (3B) |  | G (47) |  |
| < (3C) |  | H (48) |  |

16進コード表 (つづき)

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| I (49) |  | U (55) |  |
| J (4A) |  | V (56) |  |
| K (4B) |  | W (57) |  |
| L (4C) |  | X (58) |  |
| M (4D) |  | Y (59) |  |
| N (4E) |  | Z (5A) |  |
| O (4F) |  | [(5B) |  |
| P (50) |  | \ (5C) |  |
| Q (51) |  |] (5D) |  |
| R (52) |  | ^ (5E) |  |
| S (53) |  | _ (5F) |  |
| T (54) |  | ` (60) |  |

16進コード表 (つづき)

a (61)



m (6D)



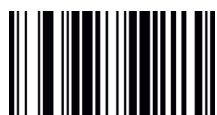
b (62)



n (6E)



c (63)



o (6F)



d (64)



p (70)



e (65)



q (71)



f (66)



r (72)



g (67)



s (73)



h (68)



t (74)



i (69)



u (75)



j (6A)



v (76)



k (6B)



w (77)



l (6C)



x (78)



16進コード表 (つづき)

| | | | |
|-------------|---|------------|---|
| y (79) |  | F6 |  |
| z (7A) |  | F7 |  |
| { (7B) |  | F8 |  |
| : (7C) |  | F9 |  |
| } (7D) |  | F10 |  |
| ~ (7E) |  | F11 |  |
| Delete (7F) |  | F12 |  |
| F1 |  | Insert |  |
| F2 |  | Home |  |
| F3 |  | Page up |  |
| F4 |  | END |  |
| F5 |  | Page arrow |  |

Right arrow



Left arrow



Down arrow



Up arrow

